



平面図 1:100

建具表 1:50

符号・数量	⑤	⑥	⑦
図面・寸法	Z 1	Z 1	Z 1
形式	スチール引吊戸	アルミ片開きドア	アルミ外倒し連窓 (外倒し45度)
仕上	鉄部DP、膜体表し	シルバー	シルバー
ガラス	-	上部FWG t6.8、腰アルミ樹脂複合板	FWG t6.8
金物	吊りレール、吊戸車、引手、南京錠用掛け金、ガイドローラー 取り外し式ガイドローラー (召合せ部)、戸当り (エンドガイド) ガイドアングル (下部のみ)、召合せアングル	水切 (外部のみ上端取付)、握り玉 シリンドロモノロック、丁番、ドアチェック ステンレス音響、(AD1'のみ可変ガラリ)	水切 (上端取付)、オペレーター メーカー標準付属品1式
備考・見込	見込:60	見込:70 (鉄骨用半外付)	見込:70 (鉄骨用半外付)
符号・数量	⑤	①	①
図面・寸法	Z 1	Z 1	Z 1
形式	アルミ引連窓	踏ガリ入り片引吊戸 (アウトセット)	ペーパーハニカムフラッシュトイレース
仕上	シルバー	化粧シート貼り	ポリ化粧板
ガラス	FWG t6.8 (倉庫) PWG t6.8 (機材庫)	F t2	-
金物	クレセント、水切 (上端取付) 網戸 (機材庫2箇所のみ) メーカー標準付属品1式	吊りレール、下ストッパー、引手 ガラリ メーカー標準付属品1式	ステンレス巾木、ステンレス笠木、表示付スライド錠、戸当り兼用帽子掛け、ラバトリーヒンジ 欄付2連ペーパーホルダー用補強、手取用補強 メーカー標準付属品1式
備考・見込	見込:70 (鉄骨用半外付)	戸見込:28.4 既製品 (3方共)	見込:40

建築基準法 法チェックリスト

倉庫	機材庫	WC
A 364.50㎡	A 30.0㎡	A 6.624㎡
L A/20 = 18.22 < A/W1 × 3 + A/W2 × 6 = 41.37 O K A/W1 × 3 + A/W2 × 6 = 1.85 × 1.3 × 3 + 0.77 × 0.796 × 12 × 3 = 41.37	L A/20 = 1.50 < A/W1 × 1 = 1.65 × 1.3 × 3 = 6.435 O K	L -
V 非居室だが検討のみ行う A/20 = 18.225 < S/D1 × 2 + 4.50 × 5.50 × 2 = 49.50 O K	V 居室だが検討のみ行う A/20 = 1.50 < A/W1 × 2 = 1.65 × 1.3 × 2 = 2.11 O K	V 機械換気
S A/50 = 7.29 < A/W2 × 6 = 0.796 × 0.774 × 12 = 7.39 O K	S A/50 = 0.60 < A/W2 × 1 = 0.796 × 0.774 × 2 = 1.23 O K	S 告示1436号第4項ハ(2)

消防法普通階の検討 必要面積 = 延床面積 (作業スペースを除く) 394.50㎡ / 30 = 13.15㎡

建具符号	位置	床からの高さ	巾×高さ×箇所数	開口面積	判定
SD-1	南	0m	4.50m × 5.50m × 2箇所	49.50㎡	普通階
AD-1	東	0m	0.75m × 1.97m × 1箇所	1.47㎡	
AW-1	北・南・東	0.9m	0.77m × 1.30m × 5箇所	5.00㎡	
面積合計				55.97㎡	

鋼材表面処理 亜鉛メッキ仕様: HD Z 35以上とする

塗装工程	塗布量	施工場所
1. 素地調整: リン酸又はスーパースト	0.14kg/㎡	工場処理
2. 下塗り (1回目): 変成I# 杉樹脂プライマー-JASS18M-109	0.14kg/㎡	工場塗装
3. 下塗り (2回目): I# 杉樹脂雲母状酸化鉄塗料 (M10)	0.14kg/㎡	工場塗装
4. 常温硬化型フッ素樹脂I# JIS K5659 (中塗)	0.14kg/㎡	現場塗装
5. 常温硬化型フッ素樹脂I# JIS K5659 (上塗)	0.10kg/㎡	現場塗装

現場塗装は地組塗装とし建方後タッチアップを基本とする

外部仕上表

屋根	膜体張り	外壁	膜体張り	樋	軒樋: 塩ビ角型W150 軒樋: 塩ビ丸型100	鉄部	亜鉛メッキ+DP
床 (AD-ア) 共	膨張剤混和コンクリート金ゴテ押入下地無機塗料塗り (防滑タイプ)	柱型	無収縮モルタル金ゴテ押入下地無機塗料塗り (平滑タイプ)	EXP・J	外壁屋根膜材の張り施工、板金差掛け施工の単独又は併用による	館名文字	カッティングシート張 (500角11~14文字程度) 2箇所

内部仕上表

室名	床	巾木	壁	天井	廻縁	備考
倉庫	膨張剤混和コンクリート金ゴテ押入一部無収縮モルタル下地無機系塗床塗 (平滑タイプ)	無し	膜体張り (外壁膜体表し) 鉄部亜鉛メッキ+DP	膜体張り (屋根膜体表し)	無し	誘導標識、消火器
機材庫	膨張剤混和コンクリート金ゴテ押入一部無収縮モルタル下地無機系塗床塗 (平滑タイプ)	無し	膜体張り (外壁膜体表し) 鉄部亜鉛メッキ+DP、一部構造用合板素地 (WC外面)	膜体張り (屋根膜体表し)	無し	誘導標識、消火器
WC	膨張剤混和コンクリート金ゴテ押入下地無機系塗床塗 (平滑タイプ)	木UC	ケイカル板 t6目透し張EP	ケイカル板 t6目透し張EP	無し	トイレース、採光窓、ライニングバック、流し、便器 汚垂石: 600×800×t13

特記事項
シーリングは全てシリコン樹脂シーリングを使用する事。膜構造については (一財) 日本膜構造協会第1種正会員とする。膜加工は同協会膜体加工工場登録制度に登録されたA種を除く膜材料を加工する工場で行う事。又、膜材使用後の引取りリサイクルが確立されている事。

凡例
膜体: 両面塩化ビニル樹脂系フィルム張両面塩化ビニル樹脂系塗装ガラスクロス。DP: フッ素樹脂系耐候性塗料。EP: 合成樹脂エマルジョンペイント。UC: ウレタン樹脂ワニス。ケイカル板: ケイ酸カルシウム板。無機系塗床: 水性無機透湿型床仕上材。FL: フロート硝子。F: 型板硝子。PWG: 透明網入り硝子。FWG: 型網入り硝子。

各種認定番号
両面塩化ビニル樹脂系フィルム張両面塩化ビニル樹脂系塗装ガラスクロス: 不燃 NM-3032。EP塗料: 不燃 NM-8585。ケイ酸カルシウム板: 不燃 NM-8576、-8578。

F: 構造用合板、各種塗料、ケイ酸カルシウム板、接着剤。

竣工図	施工株式会社 阿部工務店 監理技術者 中山 博	株式会社 環総合設計東北支所 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第17610040号 一級建築士 第199509号 設備設計一級建築士 第3号 佐藤 和夫	工事名称 平成29年度 (仮称) わたり seaside base 建設工事	図面名称 仕上表・特記事項・凡例・法チェックリスト・平面図・建具表	図面番号 A-07
				設計番号	